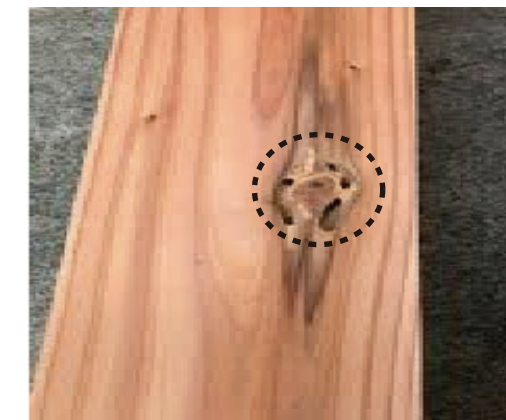


# Inventive stool

～簡素化で知る枝虫材のよさ～

## 0.0 枝虫材とは



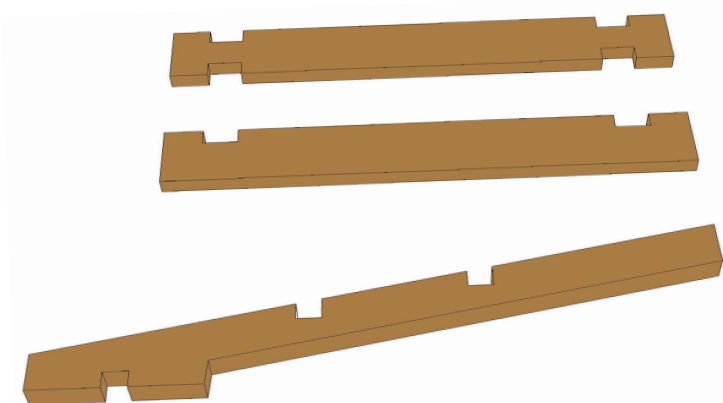
枝虫材とは「スギノアカネトラカミキリ」という昆虫による被害を受けた木材のこと。原因として林業従事者の減少により枝打ちのされない木が増えていることが挙がる。ただ建材としては構造的に問題はなく、虫が後から出てくることもない。

しかし、この枝虫材は流通せず製材所で間引かれ、枝虫材が採れた山は放置されてしまうケースが多々ある。それにより枝虫材がさらに増えるという悪循環が起きている。

**私たちの提案により枝虫材の存在、一般の木材と変わらず利用できることを認知してもらい、製材工場や現場、一般家庭などで使用されることで枝虫材への偏見を失くしたい。**



## 0.1 枝虫材への気付き



枝虫材ということに気付いてもらうため造りはあえて簡素にしにした。

気付いてもらったうえで通常の木材と変わらない構造的な強さや、枝虫材だけが持つ自然のデザインに触れてもらいたい。

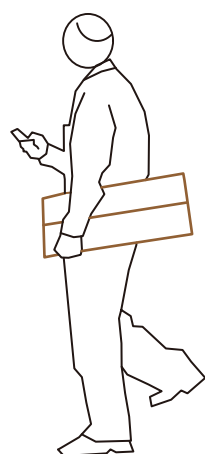
## 0.2 触るアクティビティ

組み立て



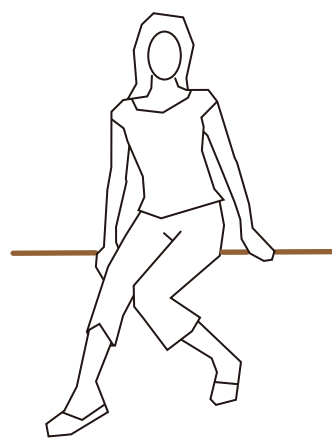
組み立て式とすることで枝虫材に触る機会を作る。

持ち運び



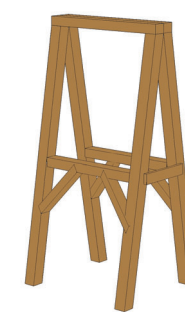
持ち運びができるため様々な場所で使える。

使用

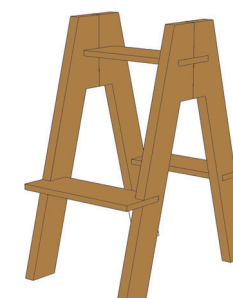


使用する際も木目や虫食いの痕に触れ、目につく。

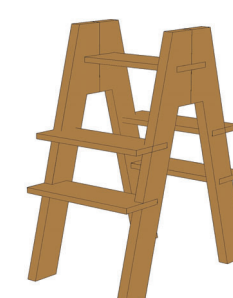
## 0.3 形態の成り立ち



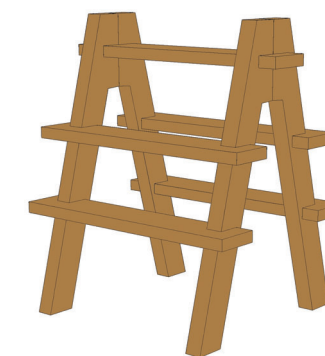
汎用性、工場や現場で使ってもらいたいという思いから脚立の形をもとに設計。



少ない部材で組み立て式とし、枝虫材に触れる機会を多く作る。

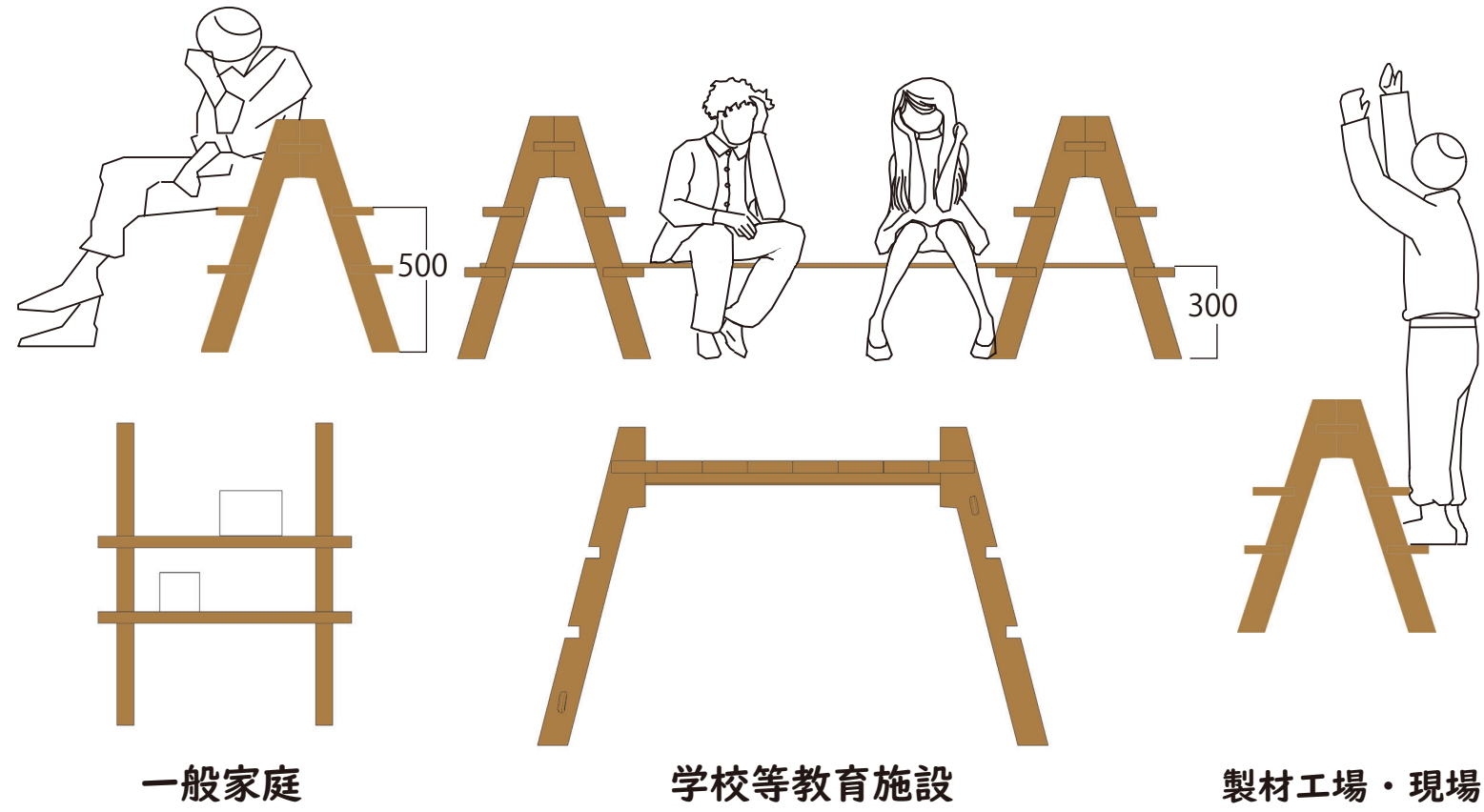


脚立以外の用途でも使いやすいように段数を三段へと増やした。



机や椅子などの用途でも天板を置いた際に違和感なく使えるよう寸法を調節した。

## 0.4 想定するシチュエーション・寸法



## 0.5 用途の幅



## 0.7 平面図 1/10

## 0.8 立面図 1/10

